

たがじょう

発行日／平成26年 7 月25日

発 行／多賀城高等学校

P T A 広報委員会

宮城県多賀城市

笠神 2 丁目17番 1 号

TEL 022-366-1225

FAX 022-366-1226

印 刷／株工陽社 塩竈市

TEL 022-365-1151



- PTA会長・学校長あいさつ 2
- 写真アラカルト「高校総体壮行式・総体」 3
- 職員紹介 4～5
- 学校行事特集「1年校外活動・2年防災講話・3年学習台宿」 6
- 球技大会特集 7
- 青春の1ページ、広報委員、編集後記 8

ちゅーも
ゆたかに
たがじょう

「充実した高校生活を」



PTA会長
倉田 直美

初めまして、本年度よりPTA会長を務めさせていただきます倉田直美と申します。趣味は吹奏楽部のおっかけです。特に大好きなのが定期演奏会です。先日6月1日多賀城文化センターにおきまして、第三十七回定期演奏会がありました。私は、昼と夜の二回公演を鑑賞してきました。どの回もすべて、満員御礼で、今年は演奏会史上初めて、三年生の生徒さんが作曲した曲を、皆さんで編曲して、演

「誰にでも未来を創る能力(ちから)がある」



校長
小泉 博

日ごろから保護者の皆様には本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。また、各種PTA活動に積極的にご参加いただき心より感謝申し上げます。

本校は来年度、大きな節目となる創立四〇周年を迎えますが、この間、地域の皆様からは文武両立を掲げる進学校として認めていただいております。着任以来、校内の様子を見ておりますと、授業中はまさに一所懸命に学習し、放課後には運

奏をしてくださいました。また、歌やダンス・マーチングなど、どれもとても素晴らしい、子供達の一生懸命する姿に心が洗われ、こんな素晴らしい演奏会を開催出来る子供達が、とても誇らしく思いました。八十九人の素晴らしい仲間たちに恵まれ、素晴らしい先生方に支えられて、高校生活を送れていることを認識することも出来ました。

また、私の多賀城高校との関わりは、長女の頃からで、その長女が卒業し、次女が入学し、それまでの六年間ずっと役員を務めて参りました。その間ずっと、感じていたことがありました。それは、どの生徒さんもきちんとした挨拶が出来ることです。

授業参観の時だけでなく、いつ学校へ行っても、生徒の皆さんが必ず挨拶して動部、文化部を問わず多くの生徒が校舎や体育館、グラウンドで様々な活動を繰り広げています。その様子はまさに百花繚乱です。また、特に印象深いのは、清々しいあいさつをしてくれる生徒が多いことと制服を見事に着こなしていることです。

正確なデータに基づいた話ではありませんが、せんが、制服の取扱業者から伺った話として宮城県の女子高校生のスカート丈の短さは日本一を争っているようです(もちろん一般論です)。こうした指摘もあり、平成二十二年年度から宮城県教育委員会では高校生マナーアップ運動を全県的に展開し本校も参加しております。あいさつの励行、自転車通学や公共交通機関での通学マナー、制服の正しい着こなしや携帯電話の使用マナーなど、生徒の自主的な活動を通して自覚を促すことをねらいとしています。ぜひご家庭でも折に触れてマナーアップを話題にしていた

くださいます。朝や帰りの送迎の時でも、挨拶してくださいます。大人として出来ないことが恥ずかしく感じるくらい、とても素晴らしい素敵な挨拶をしてくださいます。

これは素晴らしいことだと思いました。なかなか徹底して行える行為ではないからです。先生方が素晴らしいから生徒の皆さんが、行える行為だと感じました。次に素晴らしいと思ったことは、行事や部活などへの取り組み姿勢です。

体育祭・文化祭・球技大会・高校総体・定期演奏会・吹奏楽コンクール、どの行事を取っても、とても素晴らしいものです。

特に文化祭などは、それがとても顕著に見ることの出来る素晴らしい行事です。文化部の方々の力作も素晴らしいですし、

き、これまで以上に爽やかな校風を高めていきたいと考えます。なお、PTA総会でもお願いしましたが、スマートフォンの使用についてはご家庭でのルールをしっかりと決めていただきたいと考えます。

ところで、平成二十六年二月に「宮城県高等学校防災系学科設置基本構想」が宮城県教育委員会において策定されました。本校に防災系学科を開設することにつきましては昨年度も説明してありましたが、平成二十八年四月に「災害科学科」という名称で開設し、定員は一学年四〇名の一クラス編成となります。教育内容等については、お子さんを通じてリーフレットをお配りしましたのでご覧ください。本校では現在も被災地にある高校として、全校生徒を対象として「命を守る」ための防災教育を実施しており、様々なボランティア活動も行っております。今後は、専門学科の授業づくりを進めなが

運動部の方々のパフォーマンスも素晴らしいものです。今年は九月六日開催です。子供達の愛情をこめて料理したB級グルメに舌鼓を打ちながら、多賀城高校の素晴らしいさ、子供達がどんなに素晴らしいのかも、実際に感じて欲しいと思います。私は、人生において、初めての会長を務めさせて頂くので、すべてが初体験のことばかりです。子供達のことを最優先に考えながら、副会長の佐々木さん、渡邊さんと一緒に、役員の方々に手伝いを頂きながら、少しでもPTA活動に貢献していけたらと思っています。

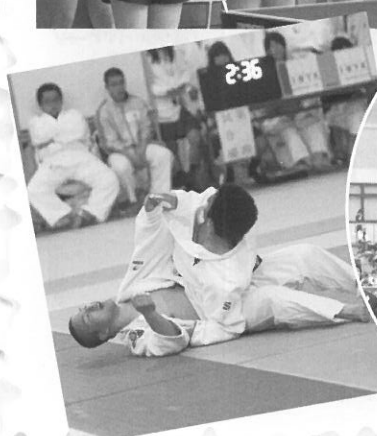
校長先生ならびに諸先生方、保護者の皆様には、いろいろとアドバイスやお力添えを頂けたら、大変ありがたいです。未熟者ですが、この一年間精一杯頑張りますので、ご協力をお願い致します。

ら普通科と災害科学科がともに学ぶ共通科目の授業づくりにとも力を注いでまいります。

東日本大震災から三年四ヶ月が経過しました。私は震災当時女川高校におりました。自分でもうまく説明できないのですが、今回3・11が近づくにつれ心がざわつき不眠が続きました。心の中に押し込んでいたものが少し表面に出てきたのかとも思います。生徒や保護者の皆様の中にもこうしたことがあるだろうと思います。生徒一人ひとり自分なりの思いや悩みを抱えています。私たち教職員は保護者の皆様と力を合わせてそうした不安を少しでも取り除き、それぞれが思い描く進路の達成に向けて全力で支援してまいります。私は「誰にでも未来を創る能力(ちから)がある」ことを確信しております。どうぞ、子どもたちの未来を創る能力を共に伸ばして行きましょう。



高校総体壮行式・総体



●1 学年 校外活動

■秋保リゾート森林スポーツ公園



●2 学年 防災講話

海洋研究開発機構 小俣 珠乃 先生

「ちきゅうを探る～海洋底での発見～」



深海の生物の中には、ロボットのように四角く光る生物がいることに驚きました。天敵に見つかりやすいのではないかと不思議にも思いました。日本は全世界で活躍していて、しかもアメリカと同様に研究を主導していることに驚き、誇らしく思いました。
(2年女子)



人類はここまで地球の仕組みを知ることができたのだと、技術の発達を感じた。しばらくすればマントルの内部の様子なども解明されるようになるだろう。東北地方の周辺に多くの海底火山が数多く存在することを知った。また、海底火山の周辺に生息する生物たちにも興味が湧きぜひ調べてみたいと思った。
(2年男子)

東日本大震災で50メートルも移動した断層の原因を調べた事が印象に残っています。海底に温度計を設置して摩擦の熱を調べ、どのくらい摩擦が起きたのか計算できるのもすごいと思いました。
(2年女子)

●3 学年 学習合宿

■宮城蔵王ロイヤルホテル



○合宿は受験勉強をするきっかけとなり、すごく充実させることができた。初日は、緊張と疲れが重なり夜の学習は眠りそうになったが、乗り切った。2日目からは学習時間の多さに、本当にうらやましく正直なところ帰りたくなるほどだったが、国・数・英をまんべんなく勉強することができた。これを機に受験勉強のために勉強スタイルを固めて持続させて第一志望に向けて頑張っていこうと思う。(3年男子)



○とても充実した3日間だった。講習のない時間がすべて自習時間にあてられて講習の復習や分からないところをすぐに質問でき理解が深まった。さらにいつも講習や課外を受けている学校とは環境が違うので良い緊張感を持って過ごすことができ参加して良かったと思う。(3年女子)



○iPhoneを使わないで机に座っていると1つの間に勉強時間が10時間過ぎていた。自宅でも触らないようにすれば勉強に集中できると思った。長時間座っていると疲れて集中が切れるが、トイレに行ったり、水を飲みに行ったりすると集中が持続するなど自分なりの切り替えの仕方について。講習を受け不足しているところも多々見つけたので改善していきたい。(3年女子)

【1, 2年生へアドバイス】

- 1, 2年生で基礎を身につけて参加すると良い。合宿で応用や、自習で難しい問題に取り組めばこの合宿はより充実すると思う。(3年男子)
- 一度にたくさんの教科は学習できないので絞って取り組むと良い。合宿中は先生に聞くチャンスもたくさんあるので、分からないところがあったらすぐ質問して時間を有効に使うことが大切だと思う。(3年女子)



球技大会 クラT賞

先生賞



3年2組／表・裏

生徒賞 先生賞



3年5組／表・裏

球技大会を終えて

実行委員長 3年4組 児玉 千野子

あっという間に終わってしまいました球技大会。時間を感じることができないくらい本当に最高のものでした。何より企画する側としての私は、みんなのこぼれ溢れる笑顔を目にした嬉しさが一番大きかったです。達成感そのものでした。正直言うと、例年のように盛り上がるか不安しかなく、開会式での挨拶では恐る恐るマイクを握ったものでした。しかし想像とは反対に、たくさんの明るい声が返ってきたのです。その明るい声は2日間絶えることなく学校中に響き渡っていました。実行委員が集い、みんながクラTを作成し、作戦を練り、必死になり、応援し、喜び合い、慰め合い、一つ一つの行動が原点となり「絆」が生まれてくるのだと改めて感じました。そもうひとつ、個人的な話になりますが、私は恵まれた環境にいたからこそこんな経験をした上に、委員長として今までやってこれたんだと思います。委員会とは別にクラT作成を担当していた私ですが、委員会から戻ると、お疲れさまー!!と言って縫い物をしながら男子も女子も、ライバルである他クラスの友達までもが迎え入れてくれたのです。まさにクラスが一つになった瞬間でした。また、委員会の本部では、「3年生には仲間との時間を楽しんで欲しい」と言い率先して仕事を成し遂げてくれた後輩に心を打たれました。本当に本当に心の底から多高生のあたたかさを感じました。感謝しきれません。こんな私を支えてくれてありがとうございました。

それからたくさんの笑顔ごちそうさます。みんなの楽しさが私の楽しさでした。ありがとう。

■球技大会 結果■

	1位	2位	3位
男子バスケット	3-1	3-3	1-1, 2-7
女子バスケット	2-7	1-5	3-2, 3-6
男子バレー	3-5	2-4	3-1, 3-7
女子バレー	1-3	2-4	2-6, 3-5
サッカー	3-6	1-1	2-1, 3-1
ドッジボール	3-4	2-2	2-7
総合	3-1	3-4	3-5



校長 小泉 博

この原稿執筆を依頼され、しかも写真添付でと言われて困ってしまいました。高校時代の写真が極めて少ないのです。四〇年前はスマホやケータイはあるはずもなく、気軽に写真を撮るという習慣もありませんでした。それでも、自宅のクローゼットの奥からアルバムを引っ張り出してみました。修学旅行のスナップ写真など何枚かはありましたが、それで文章が書けるものではありません。そこで思いついたのが卒業アルバムです。意外にも、個人写真の他にスナップ写真の中にも自分が映っているのを見つけました。それもそのはず、最終ページを開いて驚きました。すっかり忘れていましたが、卒業アルバム委員だったのです。おそらく委員の特権で自分が映っているものを選んだのではないかと思います。

さて、この写真ですが高校三年生の文化祭の一コマです。ファイヤーストームの開会のあいさつをしているところです。確か文化祭実行委員をしており、ファイヤー



ストームの担当だったと思います。では、この格好は何かと言いますと、合気道の稽古着姿です。実は、高校三年間「合気道部」に所属していました。合気道は武道の中でも独特で試合がありません。そのため最大の活躍の場が文化祭で、演武会という形で参加していました。

中学時代はバスケットボール部で、一年生の時に体を壊したために医師から運動を止められ、途中からマネジャーをしていました。高校に入って制限がなくなったの

で運動部に入ろうと考えましたが、普通の種目では中学校三年間の差が大きいと思い、武道にも興味があつたので合気道を選びました。道場はオンボロでした。冬の道場の畳は氷のように冷たいのですが、屋根や板壁にはいくつも穴が開き窓も割れていて、笑い話に聞えますが、雪が降ると練習前に畳の上の雪かきをするというあり様でした。しかし、人を投げ飛ばしあえるのは動きを封じて抑え込むとい

う面白さ（生兵法は怪我の元です）から、すっかりのめり込みました。

県内で活動している高校は三校しかありませんでした。その内の一校が女子校（私は男子校です）だったため、合同稽古を行って楽しく交流していました。また、夏合宿は道場に寝泊まりし、他の運動部にはない経験もしました。おかげで夜中にどこから入って来たのか不埒な酔っぱらいが道場に入り込んで来て、追い出すのに苦労した思い出もあります。いずれにしても、試合がないため大会に向けて追い込むための猛練習などとは無縁でした。日ごろの稽古の成果を発表するという、合気道部員にとつてのハレ舞台が文化祭での演武会でした。

部活動は高校三年間の一番の思い出と言ってもいいでしょう。練習もさることながら、合気道部の仲間と稽古の後に時間を忘れて議論したり、近くのパン屋さんやラーメン屋さん立ち寄りしたり、定期考査前には道場にある先輩たちが残してくれた過去問と一緒に解いたり、本当にたくさんの時間を共有しました。夏休みに気仙沼大島にキャンプに行つて大雨にたたられた思い出も蘇ります。彼らの何人かとは今でもたまに顔を合わせ、思い出話に花を咲かせながら旧交を温めています。

編集後記

昨年からの持ち上がりメンバーに新一年生のお母様方を迎え、十二名で楽しく委員会もスタートしました。

子供たちの学校生活の様子をお伝えするとともに、母たちも役員特権で行事と一緒にエンジョイしています!!

随時役員も募集中です♡
楽しい広報委員会活動、ぜひ一緒にやりませんか!!

広報委員

広報委員名簿

▼1学年

斎藤 美保・前田 美紀
阿部真喜子

▼2学年

相馬真由美・齋藤 昌子
佐藤 弘恵・佐々木ヒロミ
清水たみこ・日下 美江
橋本 裕子

▼3学年

村井真知子・齋藤 千秋

